

# 米国・イスラエルを 批判できない高市首相



## 先制攻撃は国際法違反

米国とイスラエルがイランを先制攻撃し、大規模な軍事攻撃を開始(2月28日)した直後の衆院予算委員会(3月2日)。戦争を止めるために日本はどうするか。日本共産党の田村智子委員長は高市早苗首相に、先制攻撃は明白な国際法違反だと指摘し、両国に攻撃の即時中止を求めるよう強く迫りました。同日の予算委でこう首相に迫ったのは田村氏だけでした。

### 南アジアのメディア

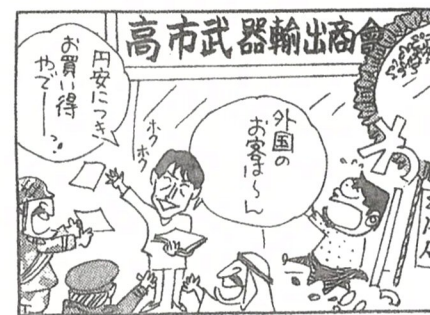
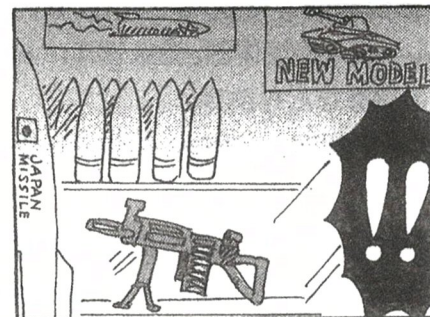
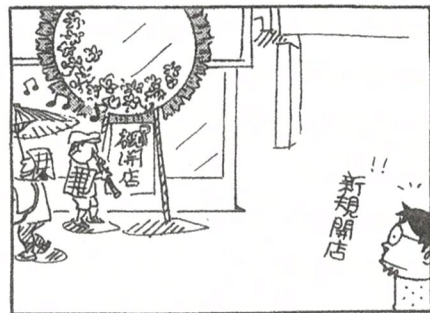
南アジアのメディアなどで、米国とイスラエルによるイラン攻撃によって、国際法が壊され、大国の横暴で小国の主権がおびやかされることへの批判が出ています。インドのヒンドゥー紙(電子版)2日付は、「帝国の戦争」と題する社説で、トランプ米大統領について「大統領となった中でもっとも無謀な戦争屋の一人だと非難。この戦争は、敵を抹殺し、米国とイスラエルの利益にかなうよう地域を作り替えるために発動された。このような犯罪的発動は国際システムの中で決して受け入れられない」と厳しく指摘しました。バングラデシュのデーリースター紙1日付社説は、「力こそ正義」がまたも示された」とし、「イランに対する軍事侵略を断固として非

### 大国が小国の主権脅かす

難する」と述べて、こう指摘しました。「現在の戦争は、すべての国家の主権を尊重するという第2次世界大戦後に諸国がおこなった宣言がもはや成立しないことを示した。大国は、ウクライナを侵略したロシアであれ、イランを一方的に爆撃する米国であれ、あらゆる国際的なルールや基準を破って好き放題できる。軍力の弱い小さな主権国家は大国のなすがままだ」パキスタンのドーン紙3日付社説は、偽りの理由で開戦したイラク戦争と同様に今回のイラン攻撃の理由も「幻影」だとし、「トランプ氏の動機は、世界中に最も醜悪なやり方で『バックス・アメリカナ』(米国支配下の平和)を投射し、従わない政権をひざまずかせることだ。その目的のためにすべての国際的な規範をすたすたにして平然としている」と述べています。



やくみちの  
小言・大言  
その822



ふれだいのこ  
さなえる  
媚びてはしやごど  
ごまをするいじ  
— 新現代用語辞典  
旭・佑治ゼミ



ふれだいのこ  
食料品  
消費税ゼロ?  
国民懷疑です  
とちぎ・純



黒田みちの  
090-9987-7909  
707 54111111  
黒田みち



### 田村質問 率直な国民の思い

神戸女学院大学 石川 康宏さん  
名誉教授

田村委員長が、高市首相に「米国・イスラエルによる国際法違反のイランへの軍事攻撃をやめよとなぜいえないのか」と迫ったのは迫力がありました。国会は自民党が圧倒的多数で、「多勢に無勢」な感じですが、田村さんはひるまず先頭に立って一歩もひかない。国民の思いを率直にぶつけて「頼もしいな」というのが率直な感想です。 記事7面



### 朝の風

生長の家教団の「覚悟」

生長の家は2月4日、総選挙に当たり「高市連立政権が掲げる政策に反対する」との教団方針を発表し、信徒に「宗教的な信念を犠牲にすることなく、候補者や政党を選択するよう求めた。安倍晋三政権下の2016年参院選、17年総選挙でも同趣旨の方針を出している。宗教団体が特定政党や候補者を支持することは珍しくない。だが特定政党を名指しして「拒否」するのはめつたにない。しかもその相手は政権党である。よほどの信念と覚悟が要るはずだ。教団方針の要点は①原発再稼働を目指すエネルギー政策に反対、②軍備拡大ではなく、人類の知恵と、その財源で、地球温暖化対策に注力することを求める、③世界秩序を揺るがすトランプ大統領と緊密に連携する外交政策に反対、の3点。原発再稼働は、「次世代に重大な負の遺産を残し、トランプ氏が踏みしめる『法による支配』『国際協調主義』は戦後日本の一貫した外交政策だとしている。徹底するのは自然界を顧みず『物質的富を過剰に追求することによる地球環境破壊への危機感。教団には『天地方物に感謝せよ』の教えがある。日常的にも自然エネルギーの普及などに取り組んでいる。選挙への対応も教義に根差した実践の一つなのだろう。(柿)